



CHANDLER™  
LIMITED



# TG 12411 Channel Pre Amp / EQ

## 取扱説明書



[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

# TG シリーズについて

Chandler Limited の TG シリーズは、あの EMI/ABBEY ROAD STUDIO で使用されていた EMI TG コンソールを厳選された St.Ives トランスや Elma のステップゲイン・コントローラーなどの英国産オリジナルパーツによって忠実に再現しています。

オリジナル TG コンソールは EMI Research Laboratories により開発され、1967 年に完成した TG コンソールの MK I バージョンは、ロンドンの ABBEY ROAD スタジオに設置されました。真空管タイプの 10 インプット/4 バス・ミキサーに代わって、この優れた 24 トラック/8 バス・ミキサーはソリッド・ステート・デザインとして始めて ABBEY ROAD スタジオに導入されたミキサーとなりました。各チャンネル毎に LIMITER/COMPRESSOR が搭載され、全てのインプット/アウトプットはトランス・バランス、ステップゲインによる高音質、優れた機能と音質は EMI/ABBEY ROAD の作品の音質を大きく向上させました。その後この優れたコンソールはヨーロッパ各地、アメリカなどに設置されましたが、EMI による完全限定生産であった為、台数が少なくまさに希少価値の幻の銘器となりました。その後 TG コンソールはバージョンを MK II、III と進化し、現在でもその素晴らしいサウンドを様々な CD の中で聞くことができます。

1960 年代後半から 1970 年代、あの『ABBEY ROAD』などのビートルズ後期作品～各メンバーのソロワークス、ピンクフロイドの『狂気』、ローリングストーンズの『SOME GIRLS』その他数々のプリティッシュ・サウンドの名盤に刻まれた愛すべき、温かいアナログの質感は TG コンソールにしか成し得なかった永遠のサウンドと断言できます。また現在のミュージック・シーンにおいても、OASIS、MANIC STREET PREACHERS、TEXAS、TRAVIS、TINA TURNER などのアルバムでその色あせない究極のアナログ・サウンドを聴くことができます。また 1990 年代に発売された BEATLES の『Anthology』シリーズのリマスタリング作業には、ABBEY ROAD スタジオのジェフ・ジャレット所有のオリジナル TG1 コンソールが使用されています。



# TG12411 Channel について

---

EMI/ABBAY ROAD スタジオのTG コンソールの音質は BEATLES の後期作品や PINK FLOYD の数々の名作における素晴らしくナチュラルでオーガニックなアナログサウンドを完成させました。また現代においても OASIS 等の作品でその美しいビンテージ TG コンソールの音を聴くことができます。そのサウンドに大きく貢献しているのがオリジナルTG コンソールのEQでした。このEQは銘器 Pultec EQP-1a3 を基盤にした素晴らしい質感を持っていました。

TG 12411 Channel は定番の TG2 マイクロホン・プリアンプと同じディスクリート、トランスフォーマー構造を持つヘッドアンプと Pultec タイプのパッシブ EQ の待望のコンビネーションです。

オール・インダクター・デザインによる素晴らしいEQ デザインはオリジナルの<BEATLES DESK>を完璧に再現しています。このEQの持つスイートな High、ポイントを押さえた Mid-Cut、リッチでクリーミーな Low はいつの時代も変わらない極上のアナログ質感そのものです。銘器 Pultec EQP-1a3 が極めたパッシブ EQ の全てが贅沢に収められています。

TG2 ヘッドアンプが達成した最高のアナログサウンドはこの TG 12411 Channel にも同様に組み込まれています。NEVE の持つハーモニクス感覚と API の持つ温かいパンチを持ち合わせた永遠のビンテージ・サウンドを操ります。マイク入力に加え、ライン入力、楽器用の D.I 入力も装備しており幅広い用途に対応できます。

現代のデジタルレコーディングに必要なオーガニック・サウンドの全ては TG 12411 Channel のボックスの中に収められています。

TG Channel は 100%ディスクリートのトランジスター回路、特別仕様のトランスフォーマー、精巧極まりない技術と丁寧なハンドメイドによって素晴らしいビンテージサウンドを再現しています。プリアンプ部分は TG2 と同様のデザインを採用し、パッシブ+インダクターベースのEQを装備しています。

\*\* PSU-1(専用パワーサプライ、別売) で動作します。

# コネクション

## CONNECTIONS

TG CHANNEL の接続は 2 番ホットのトランスフォーマーバランスです。

## POWER SUPPLY

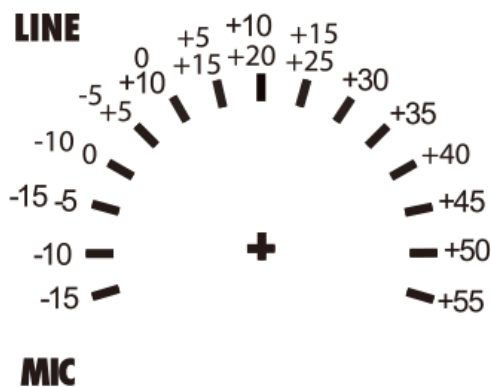
専用の PSU-1 (別売) を使用します。専用 4 ピンケーブル (付属) で接続します。



# コントロール

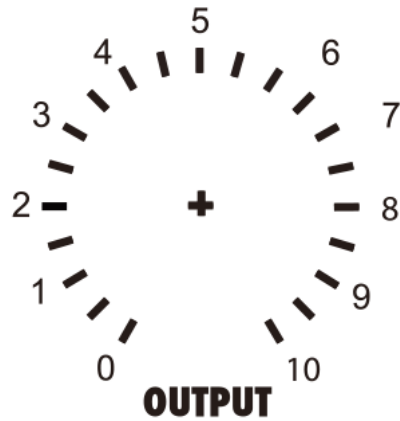
## INPUT GAIN/MIC-LINE LEVEL

TG 12411 CHANNEL はバランスのマイク/ライン入力を装備しています。マイクインプットは 2.4k インピーダンスのトランスフォーマー・バランスです。またラインインプットは 10k インピーダンスの同じくトランスフォーマー・バランスとなっております。フロントパネルの LINE スイッチを押すことで MIC と LINE の入力切替が可能です。フロントパネルのゲインコントロールの LINE ゲインは白の文字で、MIC ゲインは黄色で表示されています。また表示の無いところにノブをセットすることができます (最高ゲインの 1 つ上、最低ゲインの 1 つ下)。このサウンドはハーモニック感溢れるリッチなサウンドとファジーなサウンドを作り出す特殊なポジションです。



## OUTPUT

コンソールのマスターフェーダーに相当します。このコントロールはゲインステージの後、アウトプットステージの前に設けられています。インプットの信号をトリム可能ですので、インプットを大変ホットなシグナルに設定して（エクストラな色付け）、レコーダーでは歪まないようにアウトプットトリムすることが出来ます。大半の場合左に絞りきったフルポジションで使用します。



## PUSH BUTTONS

4つのプッシュボタンは以下のファンクションを持っています。

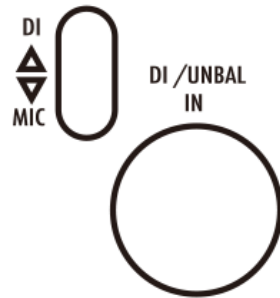
- 1、48V ファンタムのオン/オフ
- 2、フェイズ・リバーズ
- 3、LINE/MIC 入力切替
- 4、EQ の IN/OUT プッシュすると EQ をオンにします

**48V      PHASE**

**LINE      EQ**

## DI/UNBALANCED IN

ギターやベースなどのアンバランス入力切替です



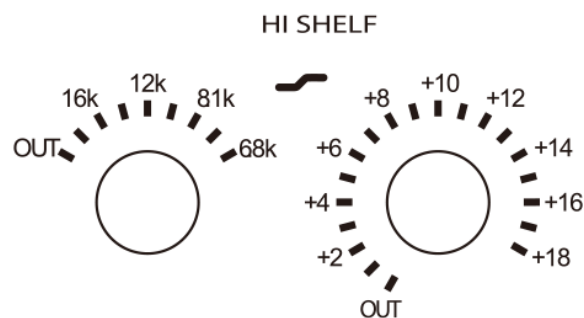
## EQ (High Boost & Mid Peak)

TG 12411 CHANNEL の High Shelf & Mid Peak はシェルフタイプとピークタイプを周波数によって使い分けています。パッシブコンポーネントによるシェルフ EQ はコンデンサーによって構成されており、ピーク EQ はインダクター構成となっており、2 タイプの異なるサウンドタイプを持ち合わせています。MID ピーク EQ には High Q スイッチを備えており、このスイッチをオンにすることで Q をよりシャープにして更なるバリエーションを活用できるようになります。ブーストコントロールは 0-18dB を 2dB ステップでコントロール可能です。

帯域は以下のようになっております

16、12、8.1、6.8kHz ( Shelf EQ)

5.8、3.9、2.2、1.8、1.2kHz (Peak EQ)

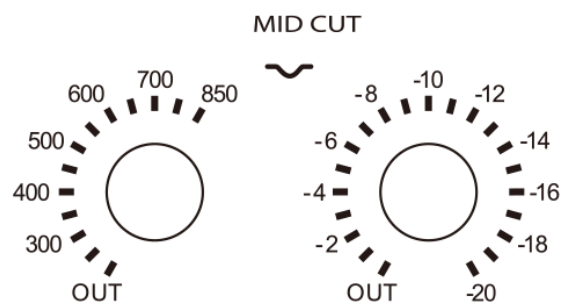


## EQ (Mid Cut)

TG 12411 CHANNEL の Mid EQ は unnecessary 帯域を効率良くカットできるように設計されています。低い周波数ポイントは大変シャープな Q を持ち帯域のノッチアウトを可能にします。また高いほうの周波数ポイントは多少ワイドな Q となっておりジェントルなサウンドとなります。カットコントロールは 0-18dB を 2dB ステップでコントロール可能です。

帯域は以下のようになっております

350、400、500、600、700、850Hz



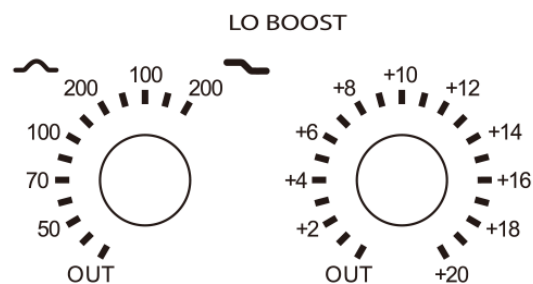
## EQ (Low Boost)

TG 12411 CHANNEL の Low EQ はシェルフタイプとピークタイプを周波数によって使い分けています。シェルフ EQ、ピーク EQ 共にインダクター構成となっております。シェルフのブーストが始まる部分は大変段階的なカーブとなっております。ブーストコントロールは 0-20dB を 2dB ステップでコントロール可能です。

帯域は以下のようになっております

50、70、100、200Hz ( Peak EQ)

100、200Hz (Shelf EQ)

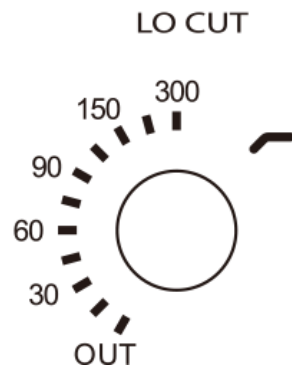


## LOW CUT(High Pass)

LOW CUT スイッチをオンにすると低域を緩やかにロールオフします。

帯域は以下ようになっております

30、60、90、150、300Hz





# CHANDLER LIMITED®

## Suggestions

Huge Kick Drum - AKG D12/D112. Keep mic level low if possible. You will get much tighter lows!



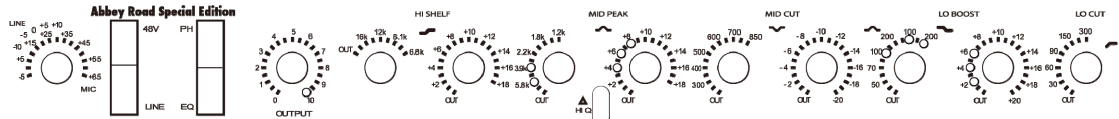
Small Combo Big Sound - Neumann mic, Fender Champ or Vox Pacemaker



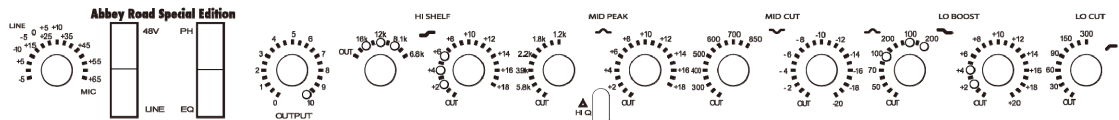
Bass DI - Direct out from Ampeg SVT



Warm, Bright Vocal - Manley reference



Vocal - Neumann U67



Marshall Bluesbreaker

